

美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月9日(木) 19:00~20:30
場 所	小野浦公会堂
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、 石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約43名
内 容	

事業の経緯・概要説明 都市整備課長 15分間 資料による

町長の経過説明 町長 15分間

4月の選挙でこの事業を止めたいということで審判を受けた。その約束は区画整理。元々この地区は、区画整理の計画があったが進めることが難しかった。それで運動公園の構想が28年から進められた。

事業の中止にご賛同いただき町長になったが、当初の約束を実現したいと県・国・内部で検討した結果、町施行での区画整理ができないことがわかった。一番大きな知らなかったこととお詫びしなければならない。心からお詫びを申し上げます。

他の方法を調べたところ民間開発なら可能ということで方法を検討したが、既に事業を進めてきた中で補助金等6億円の返還をする必要があるため返還した場合に町行政運営が継続できるかという問題があり、現在の財政状況では次年度以降の予算編成が厳しいことも分かった。これもお詫びしなければならない。

では、これまでの計画で進めるしかない。色々な方法があるから再検討しようということで、国、県との協議、日福大理事長と話をした。

大学は、美浜の発展と大学の発展は一つと考えており私も同感である。地域の発展に貢献したいとの言葉もいただいている。現在、スポーツと文化の振興を進めており、H29年度にはスポーツ科学部を開設し努力されている。また、グローバル化に向けてアジアの国との提携を目指していて、また産学連携にも取り組んでいる。

この事業を進めるには、町職員の人材では難しく、大学の組織の力や学生の協力を得ることが大事。理事長は採算の取れる競技場の在り方にしたいと言ってくれた。

私は事業を進めるに当たっては、町はいかにコストを下げているものを造ることしかないと思い、議会との対応の中でこれからさらに良いものを目指していこう。というのが12月議会の結果。

美浜町の発展のために、少子高齢化の中、まちづくりのために何を成すべきかが一番大事だと思っているので、運動公園については、皆様のご理解を得られれば、陸上競技場はきちんと造れるような形、その中で8.3haで下げられるコストは下げて、皆さんの要望に沿った全体の利用計画を慎重に考えていきたいと思っている。

もう一つは、河川改修を心配しており、善法寺から上流を早くやってほしい。運動公園部分はやっていただけることになっている。

これまで4会場の説明会が終わり、厳しい意見をいただいたが、町長になった以上はお詫びしながらより良いものにするしかないと思っている。

質疑応答（・質問 ⇒町回答）

男性1

・大きな金額を使う事業なので我々も責任を持たなければと思っている。その中で、45億円の事業費の財源の内26億円が町の負担であり我々の税金で賄っていくこ

とになる。

13億円の借入金の利息は総額でどのくらい必要なのか。財政が厳しい中で利息も数億円かかるのではないか。

⇒13億円の借入金に対して0.3%の金利で計画しているため、約5千万円の利息が必要となる。

財源は、都市計画税で市街化区域の土地家屋に課税されていて、使い道も都市計画事業(区画整理事業、公園事業、下水道事業)に限られており、一般の道路修繕には使えない。また、維持管理費についても使うことはできない。

男性2

・経済効果を心配するが、算出について裏付け的なことはあるか。

⇒算出根拠として利用人数78,000人を積算しており、日福大と高校の学生・生徒が授業、部活、定期大会で5万人ほど利用すると大学から報告を受けている。その分の消費としては授業の場合はジュース代の120円をみている。合宿で町外から来る人は富貴一知多奥田間の電車賃、昼食代、土産代を見込んでいる。

大学以外の利用者については、総合公園の屋外利用者(野球・ソフト除く)の同等数、合宿については観光協会が調査した2,700人の実績数を総合公園利用の合宿実績3千数百人、和歌山県の先進地での1年目の実績4千人と比較し、2,700人が過大でないと判断し、その半数が宿泊してくれると見込んだ。その利用者ごとの消費する額を積み上げたものが9,600万円。

・学生がそんなに使うのか。

⇒土産は、駅で販売すれば半数の方が買う見込みをしている。

・積み上げ効果は良いと思うが、半田や阿久比のグラウンドとの比較はどうか。

⇒阿久比については公認グラウンドではないため把握していない。半田市については4万人くらいだと思う。本町は、大学・高校だけで5万人の利用がある。

男性3

・話の焦点がぼかされている。実際運動公園は中止するというのか。

中止を公約に掲げて町長は当選した。それができないというのはどういうことか。できないのなら皆の前で謝罪してほしい。

今後どういう方向で行くのが美浜町にとって一番いいのか必死で模索してほしい。

⇒止められない理由は、これまで使ったお金を返す方法がなく、町の運営ができず町民に迷惑をかけるということ。

もう一つは、住宅開発で民間に8億円で買ってもらえると思っていたが、今、事業を転換するには数年かかるのでできないことが分かった。

・それが選挙前にわからなかったのか。

⇒わからなかった。町の土地だからできると思っていた。

・運動公園事業をストップすると言っていた自信はどこから来たものか。

⇒できると思い込んでいた。町長になってから分かった。国への返還も銀行の借り入れでできると思っていたがそれもできないことが分かった。

・美浜町だからできないのか。

⇒いわゆる生活費を借りることはどこの自治体でもできない。建設事業費に関するものは借りられる。

・たとえそうだとした場合、できると思っていたことができなかった。公約について町長は知らなかったと言うが我々は騙された感覚だ。

⇒おっしゃる通りです。止められないから進める方法を考えているのが今の実情。

・私は長年町長をやった齋藤さんはそんなことは解っていると思っていた。そういう点も含めて謝罪から始めてほしかった。

⇒申し訳ない。

男性 4

・選挙公報で、運動公園を止めるために立ちましたと公約したのに、勉強不足だと言っている。町長に出る人が謝ればいいと思っているようだがそんな甘い考えは止めてほしい。

公約に騙された。私は、箱物は要らないという公約に投票した。簡単に考えを変えて民主主義で通るのか。事業を止めると言ったから貴方を選んだ。ここは気持ちよく勇退されるのが貴方の道。やっていくなれば新しいメンバーでやってほしい。

または、住民投票をやったらどうか。議員も選挙の時に事業をするとは言っていない。我々町民も反省をしなければならないが町執行部も説明不足だ。仕事の進め方を反省すべきだ。

選挙結果で差が122票、無効票が422票、白票が244。判断材料がなかったからではないか。正しい資料があればジャッジが変わっていたかもしれない。一部の反対者の意見で事を進めていくことは良くない。町長は辞職して、議員も解散し新メンバーで住民のジャッジを仰ぐのがすっきりする。

コスト削減について案はあるのか、検討しているのか。

私は、公認競技場は要らない。孫の代までお金をかける必要はない。

⇒ご意見ごもっともと腹では思っているが、ご意見として受け止める。

コスト削減の検討については具体的に行っていない。町長の意見の一つには計画通り進める考えもある。効果との比較検討もある。

男性 5

・運営費の78,000人とあるが、入場料は必要なのか。

⇒陸上競技場については使用料をいただく。他の広場は無料で利用いただく。

・それで維持管理費は賄えるのか。

⇒公共施設は維持管理費を使用料で賄えていない。この施設については観光資源の一つとして利用者が他のビーチランドの利用などの消費や経済効果で補うという考えで計画している。

・税収が上がるからそれで賄えるという考えか。

⇒最終的にはそういうことになる。

・財政難の下、これを造ることによって町県民税が上がるなどの負担増になるのではと心配している。

⇒78,000人の利用者で800万円の使用料を見込んでいる。維持管理費2,000万円と比較すると1,200万円の赤字ということになる。現在ある総合体育館についても維持管理費が4,000万円程かかっているが赤字である。今回この施設については、外から人を呼んで消費を促し、強いては皆さんの所得に反映し、税収で返ってくるという考え方。

税金が上がるご心配については、町県民税というのはあくまで所得に課税するものであり、所得税の計算同様全国同じ計算方法で課税しているので、運動公園事業により町県民税が上がることはない。

・この事業により町が財政破綻をすることはないか。

⇒この事業のそもそもの発想は、このままでは少子高齢化と人口減少で消滅の危機と言われている中でなんとかそれを食い止めなければならないということが根本にある。

大学との連携についても、大学に学生が3,500人いて、その内1,200人が町内に住んでいる。大学が美浜町で存続することも重要なことで、現在の大学長期計画では出ていくことはないと言っている。

1,200人が住んでいることにより生活費の消費として1億円くらいある。また、国からいただく地方交付税についても数千万円ある。町長が美浜町の発展は大学の発展と言ったように、本町にとって大学は優良企業であるので、存続を促すこ

とも財政の取り組みである。

- ・運動公園は、それだけ魅力がある施設ということか。
⇒そういう目的で進めている。観光協会、商工会にも協力いただいて、公園ができて人が来れば駅にも土産物屋や飲食店ができ活性化を図っていく。
- ・オープンしたときはどのようなイベントを考えているか。
⇒スポーツ大会はもちろんだが、現在小野浦で行われているライブのようなイベントも誘致する予定。
- ・このような大型事業をやるときは、丁寧な住民説明を望む。

男性 6

- ・グラウンドを造って大学でお金を生んでいくようだが、コスト削減と言われているが、公認を下げると大学は使わないのではないか。大学としては3種の方がいいのか。
⇒これまでの大学との協議の中で3種を要望されたことはなく、大学・高校が授業や部活で使う分には公認競技場までのレベルは必要とされていない。
3種公認とする理由は、大会や合宿を誘致する場合に高校生等が公式な記録をとれるレベルで種目ができる整備や更衣室、会議室の必要性が調査の結果わかったため、大学からの要望によるものではない。
- ・計画している規模なら人が来てくれるということか。
⇒そういう考えで計画している。
- ・他の市町では足を運んで誘致しているので、本町もいいグラウンドを造ってしっかり誘致してやってほしい。
⇒今後維持管理の中で運営費を検討しているがしっかりやっていきたい。